あなたのご意見をお聞かせください！

千曲市にお住まいの皆様へ

【市民満足度調査】にご協力をお願いします！

皆様には、日頃より市政運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、【市民満足度調査】は、「千曲市総合計画」に掲げた32項目の達成方針について、市民の皆様が「どの項目を重要と考え、どの項目に満足しているのか」をお聴きし、今後の市政運営に反映させるための大変重要な調査です。

調査にあたりましては、千曲市にお住まいの18歳以上の方（平成24年7月2日時点）を対象に2,000人を無作為抽出し、あなたにご協力をお願いすることになりました。封筒の宛名の方が調査対象者ですので、必ずご本人がご記入くださいますようお願い致します。

ただし、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをご記入いただいても結構です。

調査は無記名で、回答内容はすべて統計的に処理するため、あなたご自身にご迷惑をおかけすることはありません。大変お忙しいところ恐縮ですがご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成24年8月（企第33号）

千曲市長 近藤清一郎

【調査票の返送】

別紙の「調査票」に回答をご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、8月24日（金曜日）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

調査内容などについてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

千曲市役所企画政策部企画課 企画調整係 鎌田
TEL 026-273-1111（内線 5315） FAX 026-273-8787
E-mail： kikaku@city.chikuma.nagano.jp

【参考資料】平成23年度行政評価結果(平成22年度までの達成状況)

達成率A/B(＼の場合B/A)

No.	達成方針	担当課	指標名 (★は「総合計画」の成果指標)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H23(B)	達成率 A/B	達成 状況
					基準値(年度)	H20	H21	H22			
1	1 地域福祉	福祉課	★福祉ボランティアのグループ数	上昇↗	93団体(H18)	105 団体	149 団体	199 団体	98 団体	203.1%	◎
			★福祉ボランティアの人数	上昇↗	1419人(H18)	2,195 人	2,800 人	2,692 人	1,440 人	186.9%	◎
			民生児童委員の相談件数	上昇↗			22,742 件	19,884 件	21,000 件	94.7%	○
2	2 健康づくり	健康推進課	特定健康診査受診率	上昇↗		20.6%	26.9%	33.0%	60.0%	55.0%	▲
			特定保健指導	上昇↗		42.7%	51.5%	52.2%	40.0%	130.5%	◎
			★生活習慣病(糖尿病等)の有病率	改善↔	31.5%(H17)	35.5%	35.7%	35.9%	28.0%	78.0%	▲
			★各種予防接種の接種率	上昇↗	60.9%(H17)	64.8%	62.0%	89.7%	65.0%	138.0%	◎
			女性特有のがん検診受診率(子宮頸がん検診)	上昇↗			24.4%	36.2%	50.0%	72.4%	▲
			女性特有のがん検診受診率(乳がん検診)	上昇↗			25.2%	33.0%	50.0%	66.0%	▲
			糖尿病等を原因とした、新規人工透析者数(国保継続加入者)	維持→			0 人	0 人	0 人	100.0%	◎
・平成23年3月現在の国保加入者で人工透析を受けている人40名(予防可能な糖尿病等が原因 26名) ・平成22年度国保加入者で人工透析新規導入者は3名(糖尿病が原因 2名 社保離脱者で、国保加入前から透析導入者。)											
3	2 健康づくり	企画課	・白鳥園敷地の北側半分は温泉施設を建築する。南側半分については引き続き活用方法の検討を継続する。 ・平成23年度中に施設及び敷地を購入し、温泉施設の実設計を発注する。								
4	3 保健・医療	地域医療推進室	★医療施設や診療科目の充実について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	維持→	58.0%(H17)	29.4%	32.2%	35.5%	現状維持	61.2%	▲
			★医療施設の状況	維持→	51か所(H18)	53か所	53か所	56か所	現状維持	109.8%	◎
			・夜間初期救急医療機関として、厚生連篠ノ井総合病院夜間救急医師派遣事業の他に、H22年度は千曲中央病院、厚生連長野松代総合病院、厚生連篠ノ井総合病院の診療に対し助成し、夜間初期救急診療業務の確保の拡大を図った。								
5	4 高齢者福祉	介護保険課	★介護予防事業に参加した人の割合	上昇↗	2.7%(H18)	7.3%	7.6%	14.7%	5.0%	294.0%	◎
			★高齢者が生きがいを持って暮らせる環境について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	48.4%(H17)	29.3%	30.2%	31.9%	60.0%	53.2%	▲
			★地域包括支援センターの設置	上昇↗	1か所(H18)	1か所	1か所	1か所	2か所	50.0%	▲
			独居老人の安否確認(加入者:食の自立115人、安心コール事業28人 独居老人1,760人)	維持→		120人	141人	143人	150人	95.3%	○
			・食の自立支援事業は115人利用しており、安否確認と併せて実施し、高齢者に喜ばれている。								

【参考資料】平成23年度行政評価結果(平成22年度までの達成状況)

達成率A/B(＼の場合B/A)

No.	達成方針	担当課	指標名 (★は「総合計画」の成果指標)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H23(B)	達成率 A/B	達成 状況
					基準値(年度)	H20	H21	H22			
6	5 障害者福祉	福祉課	★障害者の自立をみんなで支えるしくみについて「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	41.5%(H17)	26.4%	26.8%	29.5%	50.0%	59.0%	▲
			★ふれあい広場への参加者数	上昇↗	6,100人(H18)	6,250人		4,000人	6,500人	61.5%	○
			★自立のための実習、訓練への参加者数	上昇↗	99人(H18)	118人	104人	124人	130人	95.4%	○
			★障害者の雇用率	上昇↗	1.71%(H18)	1.65%	1.82%	1.82%	1.80%	101.1%	◎
			登録手話通訳奉仕員数・要約筆記奉仕員数	上昇↗			15人	15人	20人	75.0%	○
			千曲・坂城障害者(児)相談支援室相談件数	維持→			1,502件	3,969件	3,000件	132.3%	◎
<p>・ふれあい広場は参加者4000人に達し、毎年障害者並びに障害福祉関係事業所等の関係者と健常者(一般参加者)の活発な交流が図られた。 ・通所系サービス利用者数は年により変動があるものの、概ね緩やかに増加しており、障害者の自立に向けた訓練は順調に提供されている。 ・障害者雇用率(篠ノ井ハローワーク管内)は、全国平均(1.71%)を上回っている。</p>											
7	5 障害者福祉	健康推進課	地域活動支援センター(ピュアハートちくま)の平均通所者数	上昇↗			5.6人	4.8人	7.0人	68.6%	▲
			精神障害者通所授産施設(チューリップの家)の平均通所者数	上昇↗			16.0人	12.9人	20.0人	64.5%	▲
<p>・自殺予防の啓発、うつ病の理解を目的に、「心の健康講座」を2回開催したところ、延べ450名の参加があった。 ・平成22年度には、関係課間のネットワークの構築及び自殺予防の啓発活動を推進するために、関係課長及び係長による自殺予防対策推進会議を設置した。</p>											
8	8歴史・文化財	生涯学習文化課	★歴史・文化的遺産の整備・継承について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	71.5%(H17)	56.2%	56.7%	55.3%	75.0%	73.7%	▲
			<p>・松田家資料整備事業についても、H25年度事業完了に向け順次整備を行っている。</p>								
9	9自然との共生	環境課	★貴重・希少動植物の保護など、自然との共生について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	39.8%(H17)	46.5%	47.6%	48.7%	50.0%	97.4%	○
			★動植物に配慮した河川の整備箇所数	上昇↗	9か所(H16)	13か所	14か所	14か所	15か所	93.3%	○
			★年間の希少な動植物の保護活動回数	上昇↗	2回(H16)	6回	6回	7回	3回	233.3%	◎
			★年間の外来動植物等の駆除回数	上昇↗	6回(H16)	9回	5回	108回	10回	1080.0%	◎
			千曲市版レッドデータブック掲載種確認数	上昇↗		70種	120種	332種	300種	110.7%	◎
			棚田ビオトープの希少種移植数	上昇↗			14種	28種	30種	93.3%	○
<p>・千曲市版レッドデータブック作成事業は、平成20年度から3か年を事業期間とし完成し、市内では2,631種の動植物が確認され最終的には332種をレッドリストに掲載した。また、棚田ビオトープの整備も完了し、ほぼ目標値の希少種を移植できた。 ・本事業では環境市民会議のメンバーが市民調査員として6名、また、協力員として多数の市民が参画している。また調査に併せ、一般市民を対象にした観察会を開催し、市内の自然を知ってもらうとともに希少種の移植作業も実施し、これらの活動により環境への意識の高揚、さらには自然に対する愛着が深められた。</p>											

【参考資料】平成23年度行政評価結果(平成22年度までの達成状況)

達成率A/B(＼の場合B/A)

No.	達成方針	担当課	指標名 (★は「総合計画」の成果指標)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H23(B)	達成率 A/B	達成 状況
					基準値(年度)	H20	H21	H22			
10	10景観形成	生涯学習文化課	★自然や文化を感じる景観の形成について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	54.9%(H17)	44.0%	42.5%	43.1%	70.0%	61.6%	▲
			・姨捨の棚田については、名勝整備事業を順次実施している。 ・稲荷山町並調査事業については、H23年度から事業着手することが出来た。								
11	12伝統文化	生涯学習文化課	★伝統行事の継承について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	59.5%(H17)	40.1%	40.7%	46.2%	65.0%	71.1%	▲
			★神楽保存会(継承)数	維持↔	31団体(H17)	31団体	31団体	37団体	現状維持	119.4%	◎
・兩宮の神事芸能については、震災により事業が中止となった。今後、次回に調査が実施できるよう準備を行う。 ・H22年度に市内の神楽について調査を行った。											
12	13公園・緑地	都市計画課	★市民一人当たりの都市公園(公園・緑地)面積	上昇↗	9.93㎡(H18)	10.22㎡	10.36㎡	10.48㎡	11.00㎡	95.3%	○
			遊具の破損等による事故件数	維持↔				0件	0件	100.0%	◎
・三本木公園(仮称)について、用地取得契約が締結された。(H23 公園工事に着手する) ・水辺の楽校整備工事が完了し、都市公園(八幡親水公園に含む)となります。											
13	13公園・緑地	生涯学習文化課	・水辺の楽校運営委員会を開催し、平成23年5月開講式を開催することを決定。3月には野鳥観察会を開催し、20名の親子が参加。 ・平成22年度にトイレ・芝生広場(都市計画課)を整備。 ・地域や学校と連携しフィールドを活用しての動植物観察会を開催する。								
14	14上下水道	建設課	★上下水道の整備について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	65.4%(H17)	59.0%	62.3%	61.8%	80.0%	77.3%	▲
			上水道の給水世帯数(県水・市水合計)	上昇↗			21,005世帯	21,111世帯	21,500世帯	98.2%	○
			水道料金の徴収率(現年)	上昇↗			97.82%	98.33%	98.80%	99.5%	○
15	15ごみ処理	廃棄物対策課	★一人一日当りのごみの排出量	改善↘	943g(H17)	834g	819g	787g	871g	110.7%	◎
			★ごみのリサイクル率	上昇↗	23.0%(H17)	25.2%	24.3%	26.8%	26.0%	103.1%	◎
16	17安全・安心	建設課	★消防・防災体制の整備、交通安全・防犯体制の充実について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	56.1%(H17)	48.2%	50.4%	52.6%	70.0%	75.1%	▲
			★木造住宅耐震化率	上昇↗	55.9%(H18)	58.0%	72.3%	73.6%	70.0%	105.1%	◎
			床下浸水軒数	改善↘			0軒	0軒	0軒	100.0%	◎
			緊急経済対策住宅リフォーム支援事業の予算額に対する利用額の割合	上昇↗			—	32.2%	100.0%	32.2%	▲

【参考資料】 平成23年度行政評価結果(平成22年度までの達成状況)

達成率A/B(＼の場合B/A)

No.	達成方針	担当課	指標名 (★は「総合計画」の成果指標)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H23(B)	達成率 A/B	達成 状況
					基準値(年度)	H20	H21	H22			
17	19子育て	健康推進課	★小児科医院数	上昇↗	3医院(H17)	5医院	6医院	8医院	増加	266.7%	◎
			妊婦健康診査受診票一人当たり平均利用枚数 (受診利用総数÷利用対象者数) (一人当たり交付枚数 H20年度5枚・H21年度より14枚)	上昇↗			11.7枚	11.8枚	12.0枚	98.3%	○
			福祉医療対象者数(受給者証交付者数)(年平均数値)	上昇↗			8,300人	8,835人	8,600人	102.7%	◎
			・不妊治療については、平成20年度は11件(出生9人)、平成21年度は22件(出生11人)、平成22年度33件(出生10人)と増加している。								
18	19子育て	子育て支援課	★子育て支援センターの年間利用者数	上昇↗	16,986人(H17)	36,757人	32,951人	37,505人	22,000人	170.5%	◎
			★ファミリーサポートセンターの年間利用者数	上昇↗	514人(H17)	984人	695人	1,092人	1,000人	109.2%	◎
			★家庭児童相談の年間件数	維持↔	1,132件(H17)	1,577件	1,760件	1,817件	1,900件	95.6%	○
			★長時間保育・一時保育・日曜保育の年間利用者数	上昇↗	7,889人(H17)	7,076人	7,414人	7,192人	8,700人	82.7%	○
			・子育てへの不安を抱える子育て家庭への育児支援や育児相談など、子育て支援センターを中心に取り組んでいるが、同じ仲間との交流や情報交換の場として、利用者からは好評を得ている。また、家庭における児童養育のための相談、指導など支援に取り組んでいる。								
19	20教育	教育総務課	★小中学校の教育環境整備や取り組みについて「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	52.0%(H17)	34.4%	35.1%	41.1%	60.0%	68.5%	▲
			不登校児童の減少を目指す(小学校の在籍比率)	改善↘			0.67%	0.47%	0.35%	74.5%	▲
			不登校生徒の減少を目指す(中学校の在籍比率)	改善↘			2.12%	2.14%	3.00%	140.2%	◎
			特別支援教育介助員等配置人数	上昇↗			23人	28人	28人	100.0%	◎
			教育相談(電話、訪問、夜間)件数	上昇↗			141件	249件	249件	100.0%	◎
			小中学校耐震化率	上昇↗			62.0%	74.0%	82.0%	90.2%	○
20	20教育	第1学校給食センター	★食材の地場産物使用度	上昇↗	25.0%(H18)	25.8%	31.6%	37.8%	30.0%	126.0%	◎
			食中毒事故件数・労災事故件数	改善↘		2件	0件	1件	0件	0.0%	○
			1日当たりの残菜量	改善↘		59kg	59kg	49kg	50kg	102.0%	◎
			アレルギー対応食事故件数	維持↔		0件	0件	0件	0件	100.0%	◎
			<ul style="list-style-type: none"> ・調理員の衛生管理、健康管理を徹底し、食中毒の防止、安全安心な給食の提供に努めた。(職員の保菌検査(月2回)、食品の細菌検査(月1回)、ノロウイルス検査・調理室・器具の消毒) ・栄養士を中心に食育指導に努めた。(給食指導・栄養指導・学校訪問・食育便りの配布等) ・アレルギー専門栄養士による対応食の提供に努めた。(平成22年度対象者 32名) 								

【参考資料】平成23年度行政評価結果(平成22年度までの達成状況)

達成率A/B(＼の場合B/A)

No.	達成方針	担当課	指標名 (★は「総合計画」の成果指標)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H23(B)	達成率 A/B	達成 状況
					基準値(年度)	H20	H21	H22			
21	20教育	第2学校給食センター	★食材の地場産物使用度	上昇↗	25.0%(H18)	45.0%	55.6%	62.3%	30.0%	207.7%	◎
			食中毒事故件数・労災事故件数	維持→		0件	0件	0件	0件	100.0%	◎
			1日当たりの残菜量	改善↘		26kg	22kg	18kg	20kg	111.1%	◎
			アレルギー対応食事故件数	維持→		0件	0件	0件	0件	100.0%	◎
・調理員の衛生管理、健康管理を徹底し、食中毒の防止、安全安心な給食の提供に努めた。 (職員の保菌検査(月2回)・食品の細菌検査(月1回)・調理室の消毒) ・栄養士を中心に食育指導に努めた。(給食指導・栄養指導・学校訪問・食育便りの配布等) ・アレルギー専門栄養士による対応食の提供に努めた。(平成22年度対象者24名)											
22	21生涯学習・スポーツ・文化芸術	生涯学習文化課	★生涯学習やスポーツ・文化芸術の機会の充実について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	54.0%(H17)	44.9%	44.0%	46.8%	60.0%	78.0%	▲
			貸出冊数	上昇↗			357,765冊	344,519冊	350,000冊	98.4%	○
			登録者数	上昇↗			27,060人	27,991人	28,500人	98.2%	○
			読書会・講座・イベント開催数	維持→			39回	44回	47回	93.6%	○
23	21生涯学習・スポーツ・文化芸術	スポーツ振興課	★スポーツ活動を週に一回以上行っている成人の割合	上昇↗	33.7%(H17)	44.0%	44.0%	44.0%	40.0%	110.0%	◎
			★市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	維持→	4.9回(H17)	6.0回	5.0回	5.5回	6.0回	91.7%	○
			チャレンジスポーツ教室、ニュースポーツ・軽スポーツの出前講座開催数	上昇↗			24回	24回	27回	88.9%	○
			・総合型地域スポーツクラブ(アプリコットスポーツクラブ・はつらつ千曲クラブ)の設立により、競技性にこだわらず、仲間づくりや自らの健康維持といったレクリエーションスポーツに力点をおく活動が活発になり、今まででスポーツすることから遠ざかっていた退職者や中高年層の取り込みが図られることから、市民のスポーツ実施率拡大に大きく寄与している。								
24	24都市基盤	新幹線対策室	新駅誘致運動市民協議会への新規団体加入	上昇↗			13団体	13団体	15団体	86.7%	▲
			・新駅誘致積極的に誘致に取り組む民間団体が発足し、積極的な活動を行っている。 ・市議会において、新幹線新駅設置促進に関する議会決議がなされた(6月議会)。 ・長野県議会において、新幹線新駅誘致を求める請願が採択された(12月議会)。								

【参考資料】平成23年度行政評価結果(平成22年度までの達成状況)

達成率A/B(＼の場合B/A)

No.	達成方針	担当課	指標名 (★は「総合計画」の成果指標)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H23(B)	達成率 A/B	達成 状況
					基準値(年度)	H20	H21	H22			
25	24都市基盤	生活安全課	★道路網整備や公共交通の利便性向上について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	50.5%(H17)	27.6%	29.6%	32.2%	60.0%	53.7%	▲
			★循環バス利用者数	上昇↗	177,885人(H17)	164,723人	145,310人	138,411人	195,600人	70.8%	▲
			病院送迎乗合タクシー利用者数	上昇↗			228人	366人	600人	61.0%	▲
			・循環バス及び病院送迎乗合タクシー事業については、アンケート調査を基に、増便、鉄道との連絡強化等利用増を図った。 ・長野電鉄活性化事業については、長野市・須坂市・千曲市の各沿線市ごとに地元区長、学校、住民代表等で構成する地区部会においてワーキンググループを3回開催し、路線、停留所の位置、ダイヤなど十分な議論を行った。 ・H22年度の地域公共交通活性化事業については、利用促進に資する事業、バス停環境整備、タクシーの乗務員への接客マナー及び観光マニュアル講習会等を実施し受講した乗務員(8社102名)に対し認定証を授与した。								
26	24都市基盤	建設課	★国道18号バイパスと千曲線の整備率	上昇↗	27.0%(H17)	28.0%	30.2%	48.5%	42.0%	115.5%	◎
27	24都市基盤	都市計画課	都市計画道路の整備率	上昇↗			39.3%	39.9%	40.5%	98.5%	○
			・都市計画道路(旧国道線)について、県営街路事業及び市街路事業による道路改良工事が施工されています。								
28	25産業連携	産業振興課	「信州千曲ブランド」認定商品数	上昇↗			80品目	108品目	100品目	108.0%	◎
			各種イベント出展回数	上昇↗				30回	10回	300.0%	◎
			・追加募集については、様子見の業者もあったことから実施した。想定以上の申請があった。 ・PR初年度としては、かなりの回数開催できた。これらの取り組みにより、少しずつではありますが市内外の皆さんに浸透しつつあると考えています。								
29	26産業振興	産業振興課	★事業所数	上昇↗	3,175事業所(H16)	3,257事業所	3,257事業所	3,195事業所	3,200事業所	99.8%	○
			★従業者数	上昇↗	23,921人(H16)	23,853人	24,508人	25,644人	24,150人	106.2%	◎
			工業用地の確保(国土利用計画(千曲市計画)の目標値)	上昇↗			84ha	84ha	92ha	91.3%	▲
			・農業振興地域整備計画と都市的利用との調整を図るため、関係各課との連絡調整を図っている。 ・事業所数、従業者数の前回値は、その前の調査数値より増加していたため、現状値では建設業、製造業を中心に前回値より減少したが目標値は達成できた。しかし、経済を取り巻く環境は厳しい状況にあり今後については不透明である。								

【参考資料】平成23年度行政評価結果(平成22年度までの達成状況)

達成率A/B(＼の場合B/A)

No.	達成方針	担当課	指標名 (★は「総合計画」の成果指標)	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H23(B)	達成率 A/B	達成 状況
					基準値(年度)	H20	H21	H22			
30	26産業振興	農林課	★遊休農地(耕作放棄地)面積(ha)	改善↘	262ha(H17)	262ha	276ha	276ha	257ha	93.1%	○
			★認定農業者数(人)	維持→	32人(H18)	35人	33人	33人	37人	89.2%	○
			★農家一戸当たりの年間農業産出額(万円)	維持→	163万円(H16)	157万円	157万円	157万円	157万円	100.0%	◎
			有害鳥獣(イノシシ・ニホンシカ等)駆除件数	上昇↗			3,979件	3,205件	4,000件	80.1%	▲
			米の作付け面積(生産調整)目標達成率	維持→			101.0%	98.0%	100.0%	98.0%	○
			あんず苗木補助件数	上昇↗			9件	9件	15件	60.0%	▲
			あんず細菌性病害対策薬剤購入補助件数	上昇↗			-	194件	200件	97.0%	○
<p>・有害鳥獣駆除については、多くの農家からの要望があり、被害防止のための柵の設置(大田原地区)や個々の農家に対する柵設置の補助、森林と集落の境(緩衝帯)の整備(倉科地区)、また、許可数の範囲内で駆除も行い、農業被害の防止に努めており、農家の耕作意欲の保持、荒廃地化の防止には一定の効果を発揮している。</p> <p>・あんず園再開補助並びにあんずの苗木購入に対して補助金を交付し、新しい品種や生食用の品種の導入を促すことで、農家の収入の向上、収穫期の分散、凍霜害に対するリスク分散などに一定の効果を発揮している。また、あんず細菌性病害対策として、防除薬剤の購入助成を行うことにより病害予防に一定の効果が出ている。</p>											
31	27観光・交流	観光課	<p>・平成22年度は、景気の低迷や個人消費の伸び悩みにより、全般に交流人口は減少した。</p> <p>・「姨捨の棚田」が重要文化的景観に選定され、信州ディステーションキャンペーンも実施されることに伴い、JRでも姨捨駅舎を改修し、観光案内等が出来るスペースを作り、観光案内等を行える体制を構築したことにより、「姨捨」については積極的な宣伝活動を行ったため、DC期間中は観光客が増えた。</p>								
32	29住民自治	企画課	★市民と行政の協働によるまちづくりについて「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇↗	48.5%(H17)	19.5%	19.9%	22.4%	70.0%	32.0%	▲
			★市政に関心を持つ人の割合	上昇↗	69.3%(H17)			67.5%	75.0%	90.0%	▲
			★NPO法人の総数	上昇↗	9法人(H18)	12法人	12法人	11法人	12法人	91.7%	○
			★地域独自の事業、市との協働事業の数	上昇↗	104事業(H18)	116事業	152事業	178事業	200事業	89.0%	▲
			★地域コミュニティ組織の数	上昇↗	2組織(H18)	4組織	4組織	4組織	4組織	100.0%	◎
33	32広域行政	税務課	市税の徴収率の向上(現年度課税分+滞納繰越分)	上昇↗	89.1%(H17)	90.5%	89.0%	88.5%	91.0%	97.2%	▲
			市県民税の口座振替率の向上	上昇↗	53.4%(H17)	57.4%	55.7%	68.5%	60.0%	114.2%	◎
			<p>・平成22年9月議会での議決を得て、12月に県及び県内全市町村による広域連合「長野県地方税滞納整理機構」を設立した。</p> <p>・徴収率は、ほぼ横ばいであったが、預貯金調査等による預金の差押、換価などに努め、現年分は97.33%から97.98%に、滞繰分は10.83%から12.44%に向上し、滞繰分の収入額は、4年ぶりに1億円を超えた。</p>								